

京都橋中・高(京都市伏見区)の生徒会が、「男女格差」をテーマに全校生徒約1200人を対象にアンケートを行った。男子、女子とも大半の年代で、生まれ変わるとしたら「男子」と答えた割合が「女子」を上回るなど、現在の10代の価値観が分かる結果が出ており、生徒会は「正しい知識を持ち、無意識に差別をしていないか考えることが大事だ」としている。

調査は中学校198人、高校1千人を対象に7月に行った。今月中旬の文化祭で結果を発表した。

「男女格差があると思うか」の質問には「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計が男子42%、女子45%だった。「男女格差をどの点で強く感じるか」では、「進学・就職」を挙げた女子が11%だったのに対し、男

もし生まれ変わるなら…

10代の答え「男子 > 女子」



アンケート結果について話す生徒会執行部のメンバー(京都市伏見区、京都橋中・高)

子は3%であるなど男女で差が見られた。

「女性専用車両」への賛否を尋ねると、女子は「賛成」が66%に達したが、男子は「どちらでもない」が51%、賛成は35%だった。男女とも賛成の理由は「痴漢など犯罪防止」が最も多く、反対の

理由では「男性専用車両も作るべき」などが挙げられた。生徒会は「女性だけ混雑してない車両に乗っているとの思いが男子にあるのでは」と推察する。

このほか、「生まれ変わるとしたらどちらの性か」の問いでは、「どちらでも」が最多だった。

京都橋中・高 「男女格差」全校アンケート

だが、続いて、男子、女子(高2を除く)とも全学年で「男子」が「女子」を上回った。「男子は選べる職業が多い」「女子は人間関係が大変そう」などの意見があった。

生徒会副会長の同高2年木藤宏平さん(17)は「男女の違いを生かしつつ、みんなが気持ちよく暮らせることができる社会になってほしい」としている。

(三村智哉)